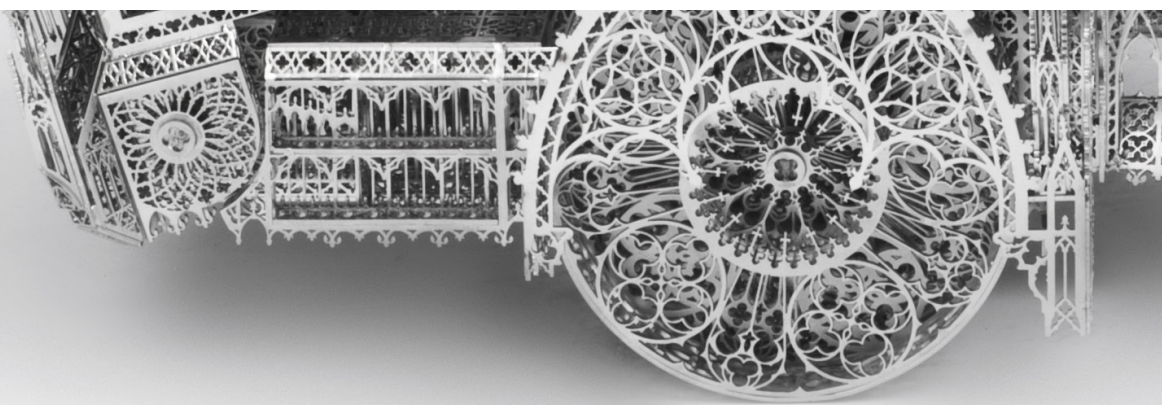




WIM DELVOYE

2026年9月8日 - 10月24日

Ceysson & Bénétière **Tokyo**



Wim Delvoye

Ceysson & Bénétière Tokyoは、2026年9月8日から10月24日まで、ベルギーを代表するアーティスト、ウィム・デルボアによる日本初の個展を開催いたします。

本展では、2000年から現在までの20年以上にわたり制作された作品群をご紹介します。

デルボアが日常の事物を題材に続けてきた芸術的探究の軌跡をたどるとともに、手彫りのタイヤ、レーザーカットによるステンレススチール、エンボス加工を施したアルミニウムといった彼を象徴する素材と言語を通して、現代社会を鋭く問いかける作品群をご紹介します。

今回この作品群を東京で紹介することは、最先端の技術と高度な職人技への敬意が共存する都市との、今日的な対話を生み出します。デルボアの作品は、実用品と装飾性を巧みに融合させ、この二面性を鮮やかに表現しています。彼はあえてありふれた日用品を題材とすることで、現代社会の複雑さを映し出し、価値、美、そして人間性について深い問いを投げかけます。それぞれの作品は、身近なモチーフを通して普遍的なテーマを語る寓話として機能しています。

2000年代初頭を代表する《X-ray》シリーズ（《Butt 1》《Dick 2》《Suck 1》）は、親密さを主題とした寓話であり、人体をX線写真によって可視化することで、臨床的な視点を通して人体の生々しい現実を浮かび上がらせます。また、《Marble Floors》シリーズでは、ハムやサラミなどの加工肉を撮影した写真を、古代ローマやイタリア・ルネサンス建築に由来する大理石床の優雅な文様へと変容させることで、視覚的な錯覚と素材の転換を試みています。

本展は、デジタル時代において、伝統的な技法がこれまでとは異なるかたちで用いられていることを示しています。それは、素材を扱う方法だけでなく、その素材によって何を表現するのかという点にも及んでいます。《Rorschach》ブロンズ彫刻では、古典的な人体像を左右対称に引き伸ばし、鏡像のような歪みへと変換しています。ロールシャッハ・テスト（左右対称のインクのシミを何に見えるかという反応をもとに心理状態を分析する心理検査）を想起させるこの造形は、私たちの知覚を揺さぶり、伝統的な彫刻を新たな視点から見つめ直すことを促します。

デルボアは、スケールと素材を巧みに操ることで、ありふれたものを特別な存在へと昇華させます。本来は工業製品であるオブジェは実用性を失い、精緻な工芸作品へと生まれ変わります。タイヤには緻密な文様が手彫りされ、《Dump Truck》や《Concrete Mixer》といった建設車両は、レーザーカットされたステンレススチールによって、ゴシック建築のレース装飾を思わせる繊細な構造へと再構成されています。こうした大量生産と高度な手仕事との緊張関係は、彼の代表作である《Rimowa》シリーズにも顕著に表れています。デルボア自身が「ハイブリッド」と呼ぶこれらの作品は、高級デザイン、工業生産、そして伝統的な手仕事を融合させたものです。アルミニウム製のスーツケースには彫刻が施され、一点一点手作業で打ち出し加工が加えられています。装飾性を極限まで追求することで、彼は既製品という実用品を唯一無二の彫刻作品へと変貌させ、機能的な道具、ステータス・シンボル、そして芸術作品との境界の曖昧さを問いかけています。

Ceysson & Bénétière

SAINT-ÉTIENNE | LUXEMBOURG | PARIS | GENÈVE | NEW YORK | LYON | PANÉRY | TOKYO

こうした多様でありながら、一貫したコンセプトのもとに展開される作品シリーズを日本で紹介することで、Ceysson & Bénétière Tokyoは、鑑賞者をウィム・デルボアの世界の全貌を体験する場へと招きます。それは、日常を題材とした数々の寓話によって編み上げられた21世紀のアーカイブであり、挑発性と抗いがたい魅力、そして知的な刺激をあわせ持つものとして立ち現れます。



Wim Delvoye, *Rimowa Topas Beautycase 971.30.00.01*, 2018. Embossed aluminium, 10.6 x 15.4 x 9.4 in.

Contacts & practical information

2026年9月8日 - 10月24日 / オープニングレセプション: 9月8日(火) 17:00-19:00

Address

Ceysson & Bénétière
5 Chome-12-6 Ginza
Chuo City
104-0061 Tokyo
Japan

Manager

Julia Gai
julia@ceysson.com
+33 (0)6 21 39 45 35

Press

Agence Dezarts
agence@dezarts.fr
+33 (0)1 44 61 10 53



WIM DELVOYE

1965年、ベルギー・ウェルヴィク生まれ。
ベルギーおよびイギリスを拠点に活動。

ネオ・コンセプチュアル・アーティストであるウィム・デルヴォワは、美術史における様式やモチーフを取り入れ、ありふれたものから型破りなものまで、さまざまな対象を芸術へと昇華しています。その作品は、哲学的な思想、素材の本質的な活用、現代的な技術、そして職人技への愛情を巧みに組み合わせています。1980年代以降、その制作は日用品に紋章のモチーフを施した作品から、生きた豚へのタトゥーや人間の消化過程を機械によって再現する作品《Cloaca》を通して、芸術の批評的機能をより先鋭化させるものへと展開してきました。これらの作品は、人間性のむなしさを扱うと同時に、芸術と商業の両義的な関係を探求しています。また、歴史的なものと未来的なものといった相反する領域を巧みに均衡させながら、デルヴォワはバロック的な表現を通して、どこか少しで不遜な視点から、現代建築や社会に根付く神話に絶えず挑み続けています。

主な収蔵先

CAPC, ボルドー, フランス
ポンピドゥー・センター, パリ, フランス
カステッロ・ディ・リヴォリ・コレクション, リヴォリ, イタリア
デステ財団, アテネ, ギリシャ
カルティエ現代美術財団, パリ, フランス
グッゲンハイム美術館, ニューヨーク, アメリカ
静安彫刻公園, 上海, 中国
ミデルハイム彫刻公園, アントワープ, ベルギー
MONA, ホバート, タスマニア州, オーストラリア
ルクセンブルク近代美術館 (Mudam), ルクセンブルク, ルクセンブルク
アントワープ現代美術館 (MuHKA), アントワープ, ベルギー
イクセル美術館, ブリュッセル, ベルギー
ルーヴル美術館, パリ, フランス
ノルウェー現代美術館, オスロ, ノルウェー
サンディエゴ現代美術館 (MOCA San Diego), サンディエゴ, アメリカ
サラマ・ビント・ハムダン・アル・ナヒヤーン財団, アラブ首長国連邦
ヘント市立現代美術館 (SMAK), ヘント, ベルギー
ステドライク美術館, アムステルダム, オランダ
マーギュリーズ・コレクション, マイアミ, アメリカ
イスラエル博物館, エルサレム, イスラエル
ウフィツィ美術館, フィレンツェ, イタリア

主な個展

2024
Wim Delvoye: L'Ordre des Choses, MAH, ジュネーブ, スイス
2022
Labour of Love, ノールトブラバント美術館, デン・ボス, オランダ
2019
Wim Delvoye, ベルギー王立美術館, ブリュッセル, ベルギー
2017
Wim Delvoye, ティンダリー美術館, バーゼル, スイス
2016
Wim Delvoye, テヘラン現代美術館 (TMOCA), テヘラン, イラン
Wim Delvoye, ルクセンブルク近代美術館 (Mudam), ルクセンブルク
2015
Wim Delvoye, ヘイダル・アリエフ・センター,
バクー, アゼルバイジャン

2014
Mimicry: Wim Delvoye at the Pushkin State Museum,
プーシキン美術館, モスクワ, ロシア
2012
Wim Delvoye au Louvre, ルーヴル美術館, パリ, フランス
2011
Wim Delvoye, MONA, ホバート, オーストラリア
2010
Wim Delvoye, ロダン美術館, パリ, フランス
主なグループ展
2026
Le Passage de Venus, ミュゼ・デパルトマンタル, アルル, フランス
Futbal y Arte, es misma pasion, フンダシオン・フメックス,
メキシコシティ, メキシコ
2025
Gothiques, ルーヴル・ランス, ランス, フランス
2024
Contemporary Song, セラルヴェス・コレクション, ポルト, ポルトガル
Monte di Pieta, フォンダツィオーネ・ブラダ, ヴェネツィア, イタリア
2023
Sculpting the Senses, 装飾芸術美術館 (MAD), パリ, フランス
2021
Drôles de Convergence, プーシキン美術館, モスクワ, ロシア
2019
Useless. Art Machines, ブロンクス美術館, ニューヨーク, アメリカ
2018
Changwon Sculpture Biennial, 昌原, 韓国
2017
Decoration Never Dies, 東京都美術館, 東京, 日本
2014
Sailing into the Sea of Oblivion, 横浜トリエンナーレ, 横浜, 日本
JISP 2014, 静安ビエンナーレ, 上海, 中国
2009
The World is Yours, ルイジアナ近代美術館, フムレベック, デンマーク
2005
Visionary Belgium, BOZAR, ブリュッセル, ベルギー
1999
48th Venice Biennale, dAPERTutto, ヴェネツィア, イタリア
1992
Documenta IX, カッセル, ドイツ

SAINT-ÉTIENNE

10, rue des Aciéries
42000 Saint-Étienne

France

WANDHAFF

13-15, rue d'Arlon
L8399 Koerich

Luxembourg

PARIS

23, rue du Renard
75004 Paris

France

GENEVA

8, rue de Neuchâtel
1201 Geneva

Switzerland

NEW YORK

956, Madison Avenue
New York NY 10021

USA

LYON

21, rue Longue
69001 Lyon

France

PANÉRY

Domaine de Panéry
route d'Uzès
30210 Pouzilhac

France

TOKYO

5 Chome-12-6 Ginza,
Chuo City
Tokyo 104-0061

Japan